REPORTER'S EYE

埼玉県狭山勤労青少年ホームは働く皆さんを応援します

【リポーター】
本橋倫代（ともよ）さん（北入曽在住）

今回はジャズダンスクラブに参加している本橋さんが勤労青少年ホームをリポートしてきました。

リポーターズアイでは、行政のしくみや話題性のあることがらを、市民のかたがリポートします。

勤労青少年ホームは働く若者の活動・交流・安らぎの場を提供しています

現在、私は勤労青少年ホームのジャズダンスに参加しています。そこで利用者の立場からホームをご存じないかたのために、この施設の概要などを紹介してみたいと思います。

まず、最初にホームがどこにあるのかというと、稲荷山公園の北側にある水道タンクを目印に来ていただくと中央児童館があります。その脇に位置する施設が勤労青少年ホームなんです。

この施設は埼玉県の施設ということですが職員は狭山市役所の職員とお聞きしました。そして、この施設はどんな目的で運営されているのかを笠原館長にお伺いしてみると、この施設は施設名のとおり、県内に在住・在勤する若者（30歳未満）が、自主的にスポーツや趣味などのクラブを通して活動をしたり、ゴルフや料理、ジャズダンスなど（22ページ募集記事を参照）の各種講座に参加していただくという、若者の交流の場を提供する施設であるとのことでした。また、働く皆さんが活動する場ということは、当然仕事が終わってからの夜間が主体となるのですが、昼間はこの施設はどのような使われ方をされているのでしょうか。その点についてお聞きしますと、勤労者の皆さんの多くは昼間は働いているわけですから、施設の有効な利用という意味で、昼間に限り年齢制限などの使用条件は無く、一般の皆さんも利用できるんですよと答えていただきました。

館長にインタビューをさせていただき、たくさんのお話しをお伺いしたなかで、私が一番皆さんにお知らせしたいことは次のことです。まず、習い事や教室に通おうと思ったとき、一般的にはカルチャーセンターなどの施設で高い月謝を払っているかたが多くいると思います。（かつては、私もその一人でしたが）しかし、私たちの身近なところで、しかも安い費用で、花嫁修行ができ、友人がつくれるなんて、とっても価値ある施設だとは思いませんか。こんなよい情報は、ひとりじめにしていてはいけないなと思います。ですから、30歳未満の働く若者の皆さん、よき出会いと明日の活力を求めて、ホームに出掛けてみてはいかがですか。

また、独身男性にとって朗報もあります。それはここのホームの利用者の8割が女性で、しかも平均年齢が24・5歳というのですから驚きですね。そして、このホームで知り合ったOBの皆さんで、めでたく結婚までゴールインされたカップルも多いと聞きました。

最後に、このホームは来年の4月1日に県から市へ管理運営が移管されるとお聞きしましたが、市の運営になるのですから、今まで以上に時代に即した、私たちのニーズに答えてくれるような施設になってほしいと期待しています。

ジャズダンスに夢中の本橋さん（写真中央）

勤労青少年ホーム（入間川4-14-8☎53-2777）

Opinion コーナー

VOL.24

原嶋早苗さん
（鵜ノ木在住）

安全性を心配するだけでなく具体的に学び、行動しましょう

私はこの春から、消費生活モニターとして活動させていただいています。モニターになってみて、消費生活センターの価値と重要性を再認識しました。とくに食品や水、洗剤、化粧品などあらゆる日常生活用品の、自然環境や人体に対する安全性の問題にたいへん関心を持つようになりました。たとえば、輸入農産物の残留農薬、加工食品やお菓子に含まれる食品添加物、合成界面活性剤の毒性などについてです。

私たちは、ふだん何げなく口にしている食品や身近で使っている日用品の品質に対して、より多くの関心を持つべきではないでしょうか。私は、食品を購入する際には必ず商品の生産地や原材料名の表示を確かめ、できるだけ添加物の少ない商品を選び、また、少しでもそれを落とす調理方法を工夫しています。それから、純せっけんを洗濯、食器洗い、洗顔、シャンプー、住まいの掃除などに幅広く使用しています。これからも、ただ心配するだけでなく、具体的にどうすれば安心した生活を送れるかを学んでいきたいと思います。なお、中央図書館5階にあるこのセンターには、消費生活に関する情報が豊富に揃えられていて、書籍やビデオの貸し出しもしていますので、皆さんも積極的に利用してみてはいかがですか。

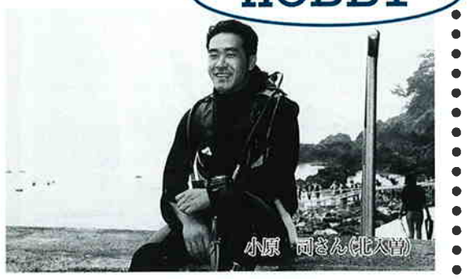
狭山の生態系シリーズ⑰

オニヤンマ

撮影：県生態系保護協会狭山支部
高橋 昇さん（中新田）

全長9㎝。日本で一番大きな、夏に見られるトンボで、林の小川にすみ、小さな動物を食べます。休むときは、小枝の先に羽根を広げて止まります。ほかのトンボのように1ぴきずつがなわばりを作らず、広い空間を何びきもで、ずらしてパトロールします。田んぼの近くの小さな流れや上流のゆるやかな流れの中にいて、ヤゴ（幼虫）は石の下にもぐりこんでいます。

HOBBY



小原 司さん（北入曽）

スキューバダイビング

私は、子どもの頃からずっと海が好きで、いつかは海に潜って魚とたわむれてみたいという願望を持っていました。青少年ホームの講座でスキューバダイビングの資格取得の講習があり、すぐに申し込みました。運よく抽選に受かって受講できることになり、過酷な講習にも耐え、ついに資格を取ることができました。以後、毎年海に出かけダイビングに明け暮れる日が続いています。海の神秘に触れ、ロマンに夢を膨らませ、すっかり時のたつのも忘れてしまいます。

エネルギッシュ 狭山の企業⑰

ジミでハデ。彩り豊かな事業展開は超精密加工で育んだ技術力が原点だった

機種名ＩＧ－22

狭山精密工業株式会社（富士見2－15－1）☎59－7221

一九五八年二月、シチズン時計㈱初の子会社として設立されました。

当初は腕時計の部品製造が主体でしたが、その精密加工技術を武器に多岐にわたる分野に事業を展開。なかでも一九六四年より製造販売を開始したギヤードモータ（写真）は、一見生活に馴染みが薄いようですが、バスの料金箱や各種自動販売機など、案外身近なところに隠れて頑張っています。また、今、日本で一番ホットなパチンコ産業にも、一九七一年よりオリジナルの玉補給関連機器・玉貸機などを供給。つぎはどんな仕事をしようかと、常に研究を続ける技術&品質自慢の会社です。